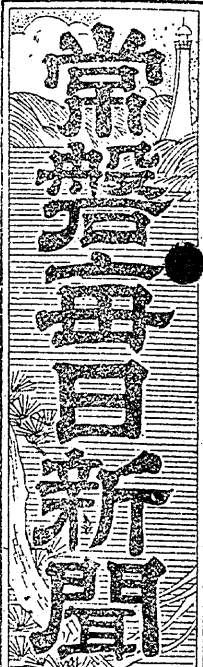


刊夕 日九十月九



定額 三圓五錢
 代金 五圓
 郵費 五錢
 日曜 休刊
 発行所 常磐寄目新聞社
 印刷所 常磐寄目新聞社

南無とは何か

真織雲山

【一】
 家から出たものが入つて来たればこそ歸つたといふので、赤の他人が入つて来たのを「お歸り」とはいはない。南無といひて私たちが佛様のふところへ歸り得る事實があるといふのは、その昔もど／＼私たちが佛様のふところから出た身の上であるからの話である。

又二つのものが一つとなつたからには對立といふことはなく、それゆへ南無といふ以上には、呉れの、遣るのといふ水臭い話のある筈はない。そこには渡し手も無ければ受け手もない。その一つになつたところを凡聖一如とも生佛不二ともいひ、南無とは同時に歸法一体の姿である。心の真底から私たちが佛様に南無することが出来るなら、その時私たちが本統に且つ永久に救はれるのである。尺八を稽古するのに、初めに「黒髪」を習ひ、終りに又「黒髪」を習ふて免許皆傳となるのだといふが、同じ筆法を以て「南無」は佛敎の入口であると同時に一切を擧げて如來に授托し歸命す

ることによつて「南無」の眞實義を體得するなら、それはモウ佛敎の免許皆傳である。

み佛の大悲と電波

真織雲山

朝な／＼佛前の勤行の燈明に、み佛の慈光はあかあかと輝やく。夕べ／＼佛前の讀經の聲に、み佛の慈悲は賤ヶ伏屋の隅にまで込み

- ◎ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- ◎ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- ◎ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 【朝】味噌汁：かぶ 小付 こんぶ佃煮
- 【晝】油揚げやき 小井 大根おろし 煮豆
- 【晩】玉菜まき(豚肉) 玉葱 みちん 白ソテー 白ごまあへ(し) ひたけ 人參蓮根

わたる。ラジオを透して、名山靈場からの、その折り／＼の法要が津々浦々に響きわたることは、いかに人の心に信をつたへ、日本の全土を清浄にすることがか。非情の嵐も聲をとどめ、無信の虫魚も耳をかたむけるに充分である。三途の苦難にあえぐ人々あらば、肩荷を卸して静かに先づ佛前に座するがよい。

七十年前、京濱間に開蒸汽が走りはじめたから、今は世界中の出来事が即座に聴けるラジオの出現まで一世紀に充たぬあいたの科學の發達——神秘の殿堂は、目まぐるしくも展開されて来た。しかもその進歩のやうに、惱める人々の心の扉は、果して開かれて来たであらうか。科學と反比例して、人間の苦惱はいよ／＼深く、生死流轉の波はますます／＼高きを加へてはゐまいか。

各宗本山の朝夕の勤行を日日夜々に、そのまゝ、毎日

吉田眼科醫院
 平町紺屋町

に傳へてほしいと、記者はかつて放送局に要請したことがある。春秋の彼岸會の實況放送はその後一步を進めて、日曜勤行の放送にまで漕ぎつけた。電波の傳へるみ佛の慈悲を、せめて毎朝の勤行に拜受せんことを皆様と共に重ねて要望したい。讀經入信の一路を、地上のすべてに切り開かれた

平町南町五〇一
根本産科醫院
 (手術室完備) (入院隨時)
 根本 莊次郎
 根本 貞雄
 電話三四番

喜多流 謠曲と仕舞の
 お稽古をお奨め致します
 平町南町六九
喜多流 白土會
 入會隨時 電話一二七番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平町南町一六(電話一七〇番)

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
 醫學士 鈴木 正男
 平町南町(電話五八番) 藤田女學校前
 自炊のお需めに應ず 入院の便あり

井坂醫院
 平町 田町
 電話五五九番

上田病院
 平町 南町
 電話二二九番

九ミリ半
ポニイ
 小型活動寫眞機
 ◇ 改良された前進號
 撮影機 ¥ 25.00
 映寫機 ¥ 24.00
 (カタログ進呈)
 平 二・電 3
西村屋藥局カメラ部

Refinectex
 リファインテックス
 秋冬の洋服地は
 新柄揃ひの
 リファインテックスで
大崎屋洋服店
 平銀座通 電 96

美味 貝焼
 味 鯉鹽から
 当店特製
節 鯉
魚問屋
 榮盛賀志
 番三一二話電 目丁四平

古川の改修

けふから着工さる

實現後は水禍を根絶

平附近の水禍の根源を絶つ平、内郷、飯野三町村に亘る古川(延長七軒)の改修工事は総工費四十萬圓を以つて十一年度より六ヶ年繼續事業として縣營工事で施行されることは既報の如くであるが愈よ本十九日午前十時内郷村綴地内新川上流に於て入夫六十餘名を役使して鍬入を行ひ起工式を舉行した

因に十一年度工事は工費七萬圓で内郷村綴地内の上流延長千五百米間を副員四十二米に擴張護岸するもので毎日入夫二百餘名を役使して明春三月末日迄に豫定區域の竣功を見る筈で同河川改修擴張の結果は地方民に取つて過去に於て水害に脅かされたのが根本的に解消されるものとして非常な期待をかけられてゐる

鮫川のさげが

姿を見せない

郡南鮫川の鮭の漁季に入つた昨今、毎日漁夫で賑つてゐるが今年と同魚の姿少なき全くの不振で価格は一貫又二圓五十錢前後であると

平商から郡下の

優勝兒童に贈る

華麗な優勝旗をけふ注文

既報来る十月十三日の陸上運動會當日郡下小學校兒童の優勝旗争奪リレーを催す平商は今十九日優勝旗の製作を京都市兒島商店に依頼した寸法は三尺五寸に四尺圖案は琥珀地を深緑に彩色

中央に優勝の文字を月桂樹で包み刺繍し金モールを配した華麗なものでその出来栄を期待されてゐる

青年學校送別 平青年學校は此程同校指導員大

竹徳義氏が家事上の都合に依り退職したので今十九日午前十一時から職員室で送

一般觀衆が失望

長途遠征の疲勞から

奉天軍不振

日滿親善交歓野球奉天實業團對日立軍の試合は既報の如く昨十八日の滿洲事變五周年記念日ケトし午後三時から磐中球場に開催したが長途遠征の疲勞と球場のコンディション不良の故か奉天軍一向に振はず戦前の豫想を裏切り九對一のスコア一で大敗一般觀衆を失望せしめたスコアは左の如くである

日12001050 A 9
一三三四五六七八九
奉10000000000 I

授業時間

一齊に復活

別茶話會を催した

夏季後短縮授業中の平町第一、第二、第三の各小學校は秋風來と共に明後二十一日から一齊に普通授業に復活するが毎午前七時二十五分から自習を開始し同五十分は朝令を開き授業に移ると

教員陸上競技

石城第四區草野四倉方部教育會の教員陸上競技會は明二十日午前九時から草野校グラウンドに開催される

城山衛生組長

平町舊城跡第二十五區衛生世話係(組長)は十七日左の如く決定

中澤光作(六間門) 安澤祭作(坂上) 馬目政七(本丸) 立原三郎(三ノ丸) 片寄清(杉平) 島津松兵衛(櫻町)

磐女學年競技

磐女は今十九日午後一時から櫻ヶ丘グラウンドで各學年對抗二百米、走幅跳、籠球投の競技會を催した

土地賃貸價格を

調査委員が打合

平町の土地賃貸價格調査は廿一日より四日間行はれるが廿一日同町會議室で山崎清三 諸橋久太郎

榑田榮太郎 猪狩庄平の各委員がこれが打合せを行ふと

實業教育の優秀な

本郡下關係授彰者

本縣實業教育振興會の總會は今十九日午前九時から縣教育會館に開催十年度の實際成績共進會を開いた結果その成績優秀な小學校、青年學校、中等實業學校及び卒業生等を表彰したが本郡關係は左の如く卒業生の受彰者は縣下を通じ本郡のみであると

△小學校 錦 平窪 大浦 磐崎 小川 渡邊 玉川

△青年學校 勿來實業 泉 小名實業 上遠野

△卒業生 上遠野村上遠 金治

梨は昨年より安い

五貫匁一箱一圓六七十錢

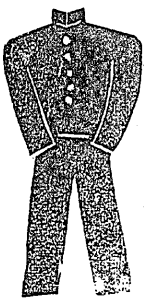
秋の味覺を誇る郡下の梨果は昨々出廻りを見せて、昨報の如く北好間方面から東京神田市場への共同出荷あり山間部小川平窪方部の特産の早生赤、長十郎も愈々出廻つて來たが相場は五貫匁一箱一圓六、七十錢で昨年比し一割方の安値である

愛婦出席申込 愛國婦人會第三十五回通常總會は十一月月上旬東京市青山憲法記念會館で開催される豫定なので平町の參列希望者は分會宛申込まれたいと

通學用冬服賣出し

御待兼ねの通學服が全部取揃ひました
いづれも、型・生地・裁縫共に入念なる製品です

國防色冬服	6 號	4.10 圓
		各寸20錢上
黒小倉服	6 號	3.50 圓
		各寸20錢上



ふかや洋服店 平町203 電話

かまぼこ
お土産
製造

お惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

忠魂碑の辨當から

中毒者者續出

何れも仲々の重態

平署事件を重大視す

昨十八日舉行した磐崎村忠魂碑除幕式で來賓四百餘名に晝食として饗應した湯本町宇天王崎魚濱こと庄司濱吉方仕出の折詰を喫した來賓中十八日夜から十九日沸騰にかけて中毒患者續出猛烈な腹痛を訴へて吐瀉、下痢等の症候を呈して居るので驚愕した關係者から平署に急報、平署衛生課では最近各地に中毒患者瀕發して居る折柄として事件を重大視して縣衛生課に報告する

と共に現場に急行、症状並に中毒の原因を調査中であるが目下の處中毒の重態者は
磐崎村第一小學校教員野木弘二 同齋藤テイ 同村湯長谷長倉坑齋藤由吉 同大井川某 同村藤原第二校教員某外四名
の九名で他に下湯長谷、馬玉、岩ヶ岡方面にも多數續發してゐる模様で前記發病者は何れも長倉坑林醫師の診療を受けてゐる

數日前からの...

仕込みに腐敗か

一時にとつと舞込んだ
大量注文に間に合はず

磐崎村忠魂碑の中毒事件に就いて平署から渡邊温部長外一名が現場に急行原因調査中であるが仕出しの湯本町天王崎魚濱こと庄司濱吉方では當日四百餘の仕出しが間に合はぬため數日前から仕込をしてゐたものらしく當日朝急速に冷温混濁した結果腐敗して中毒作用を起したものでないかといふ

札付さの

酌婦逃走

小名濱町宇古湯料理業菊の家こと青木幸男方で十五日午前二時三十分頃抱いた茨城縣多賀郡松原町宇高萩信夫二女根本ハナ(三)は翌十六日夜八時頃一寸賣物に行くと家を出たまま、歸宅せず姿を晦ましたので抱主から

激浪をかぶつて

傳馬船顛覆

溺れた五名の内

一名は行方不明

昨十八日午前十時頃江名町宇北町船主坂本喜十郎氏所有傳馬船に同家雇漁夫六名が便乗小名濱築港内で親船のアグリ船に向つて行く途

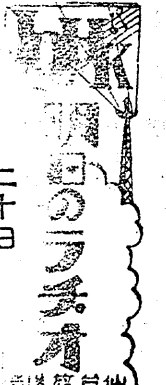
召集されて

旅費に窮した

青年に恵の手

禮状から世に出た警官佳話

救はれた青年からの真心こもる禮状で隠れた一警官の善行が世に出た感激佳話
去る十五日夜九時頃平驛前にシヨンボリとたゞすむ青年を驛派出所の鈴木忠



今朝も明日も北西の風曇のち小雨
報 豫 氣 天

明日の話題
報 組 豫 告

明日の部
前九、三〇 子供の時間
管絃樂 日響
前一〇、〇〇 講演「痘痕を遺さない全く新しい種痘に就て」矢追秀武
一主要植民地の植民政策に就て「淺香末起
前一一、〇〇 彼岸會法要
淺草本願寺より中繼
前一二、五〇 六大學野球
明慶 立帝戰：神宮球場
中繼

明日の部
後〇、五〇 和洋合奏 江東管絃樂團
後六、〇〇 齊唱 仙臺市内小學校兒童聯合唱歌隊
後七、三〇 講演付齊唱「閑院參謀總長宮殿下を迎へ奉りて」伊達與宗伯
後七、五〇 漫藝「ボクサ！月形半平太」柳家三龜
後八、一〇 映畫劇「落語の世界」藤原釜足 喜代三他 P.O.L 連
後八、五〇 浪花節「伊賀の水月」浪花亭奴
會を歓迎する由

汗の結晶で

青年等が旅行

平職業紹介所報告
人を求める方

大野村玉山青年分團では過般來施工中の仁井田川改修工事に出役最近この勞銀が相當の金額に達したので有益な利用方法を考究中であつたが廿一日朝分團員の視野を擴めるため一泊二日の豫定で三十餘名の分團員が上京宮城を拜し各所を見學することになつた

裁判 一束

△既報海岸に野宿して町内を荒し廻つた小名濱町宇渚一〇七九前科二犯無職吉田光(三)の窃盜事件の公判は今十九日午前九時半から平區で西判事係り氏家檢事立會の下に開廷、檢事から懲役一年六ヶ月求刑され判事から即決求刑通り言渡された

市原醫院

平町・四町
電話一一四番

合
△漁夫 二十才—四十才迄
給料歩合

◇ 職を求める方
△助手 十九才 高卒
△トラック助手 二十三才 尋卒

続々 瓦解の謎

(脚上 映上)
悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)



二二六 あらまアこはい
次郎長は土井伊織ことお花の経歴とその犯罪を大木勘兵衛から聞いて
長「成程、そんな大きな罪が有つては私に引き渡すことはなりません、では今日は引上げますがお花には悪いこともございませうが柳清四郎夫婦に腕貸をして敵をうたせた事は悪いことではございませぬ、この邊をお察しくだすつてお慈悲の御沙汰を願ひます」
伏「よし、それは心得て居る」
長「お花をこゝへお呼びくださいまし」
と次郎長がかう云つた、そこでお花こと土井伊織をそれへ引き出した、時に次郎長が
長「オィお花、伏谷様の云ふには女が男装になつて俺のやうなものをたづねて来たに於いてはこれには深い譯があるだらう、判よりくいやアお上の目を忍ぶため男になつてゐたには、舊悪があるに相違ねえとかう伏谷様のお見込みだ、またこゝにゐる大木と云ふ人はお主の素性をよく知つてゐる、男まさりのお主の



ます、お花にはお慈悲を願ひます」
とかう云つて次郎長は引き取る、それからお花はしらす所にまはされて伏谷如水がその係とて取りしらべらる、お花は大小を取上げられて腕繩をかけられ白洲に引き据えられた、大木勘兵衛及びその他二三の役人も付添ふ、お花は何うなることかと多少神経はとがめたが剛腹者として自若としてゐる、お花は今函館で戦ひをしてゐる榎本君のもとに行き彼の地で死なうと云ふ決

かひおごそかなる態度にて伏「土井伊織こと江戸淺草觀世音境内に水茶屋をひらき居つた櫻屋のお花、たゞ今取調べることに於いて明白にこたへろ」
花「イヤアア氣味が悪いこと、どうして私のことをさうくはしく知つてゐるの」
伏「これに居る大木からうけたまはつた、これ大木、この女はお花だ」
大「左様でございます、櫻屋のお花と云つて二枚繪に出た女でございます、これお花、俺をわすれたか、根岸の青木の別荘にふみこんで押さへ付け、傳法院の大岡様の役宅に引き立て一應取しらべた上町奉行におくる途中お腕の渡口で貴様は

ら、よしこゝに大きな罪があるとしても、それと差引勘定をつければ首の飛ぶやうなこともなからう」
花「親分に心配をかけてすみませぬ、イエお前さんの云ふ通り身におぼえのあることは何んでも申し上げますよ」
長「さうか、それでは伏谷さま、私はこれで引き取り

逃げたな」
花「オヤ、お前さんはその時のお役人かえ」
大「さうだ、今は朝廷に御奉公をしてこの駿府の總督府の役人になつてゐる、俺がこゝにゐる上は何もかも包み隠さずはいてしまへ」
花「どんなことをいへばいいの、お前さんの註文次第佛も出せば鬼も吐き出しますよ」
大「伏谷様がおたづねなさるからこれにてこたへろ、今も云つた通りかくすと爲めにならねえぞ」
と云つ、睨み付けた、お花は「あらまアこはい、こと」と横をむいてクスリと笑つたがその態度は傍若無人。

暴騰の前 秋の冬洋服 懸賞特賣

福永洋服店
福島縣平町田町十九
末廣料理店前 電話二八二二

新製秋冬紳士服御詔
御假縫付仕立入念奉仕!

感謝品景提供
御注文一着毎に抽籤券進呈 (但シ金參拾圓以上)

背廣三ツ揃	金三十圓より
オ一バ各種	金二十五圓より
モーニング	金四十五圓より
立衿	金十二圓より
二重廻	金二十七圓より
東コート	金十六圓より

特賣期日 九月十五日より
十二月三十日まで
抽籤發表 昭和十二年一月十五日
厳正に抽籤施行

諸機械製作販賣

會社名 田邊製作所
平白銀町(驛前通)
電話二九四番

機械切各種齒車製作

外科 内臟外科 院長 安齋 徹
X光線科

新設 産婦人科 醫學士 黒澤 廣
入院隨意△

安齋醫院
平町田町
電話四七五

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

磐城セメント會社特約店

久益屋商店

良品廉賣に勝る商略なし
確實敏捷は生命なり